

専門ゼミとは



- 専門教育科目演習(ゼミ)では、担当教員の指導のもと、設定したテーマについて調査・資料収集をして、レポートやプレゼンテーション資料を作成し、それをもとに他の学生と討論する形式をとります。通常の授業とは異なり、少人数制で2年間継続して履修することが前提です。
- ゼミの活動を通じて、将来の実務で必要となる課題設定および課題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、文章作成能力を養います。また、合宿や懇親会など、担当教員や他の学生と交流する機会も得られます。
- なお、2025年度現在商学部設置している、6トラック(経営、会計、マーケティング、ファイナンス、保険・リスクマネジメント、ビジネスエコノミクス)合計で約60の専門ゼミに加え、2026年度より「総合・学際科目分野」の約15の専門ゼミを新設します。
- ゼミは、以下の通り、半期の専門教育科目演習(ゼミ)と専門教育科目演習論文(ゼミ論文)で構成しています。

		履修学年	単位数
専門教育科目演習	専門教育科目演習ⅠA	3年生	2単位
	専門教育科目演習ⅠB	3年生	2単位
	専門教育科目演習ⅡA	4年生	2単位
	専門教育科目演習ⅡB	4年生	2単位
	専門教育科目演習論文	4年生	4単位

◆ 選考までのステップ

STEP1	説明会への参加
✓ 興味のあるゼミの説明会に参加し、ゼミの内容や講義の進め方、研究テーマ等の情報を収集する。 ✓ 説明会は、9月上旬ごろ実施。	
STEP2	応募
✓ 収集した情報を踏まえ、MyWasedaから「応募ゼミ申請」を行う。 ✓ Webでの「応募ゼミ申請」と併せて、応募書類を提出する。 ✓ 1次選考の応募書類提出は、9月上旬ごろ実施。	
STEP3	選考試験
✓ 応募ゼミの選考日、選考場所等を確認し、選考試験を受ける(レポート課題のみの場合もあり)。 ✓ 1次選考は、9月中旬ごろ実施。	

※上記について変更の可能性がありますので、商学部 HP「ゼミ選考」にて確認してください。

特集



掲載は科目配当順

専門ゼミ目次

2026年度開講ゼミの募集有無については、商学部ホームページまたは掲示板を確認してください。

●経営トラック

組織と戦略	藤田 誠	07
ビジネスモデルと競争戦略	井上 達彦	07
企業法研究	和田 宗久	07
企業と環境・社会(2026年3月退職予定)	谷本 寛治	07
経営戦略研究	山野井順一	08
組織行動研究	村瀬 俊朗	08
Contemporary Strategic Management	マレン ジョエル	08
応用組織論研究	三橋 平	08
Managing Human Resources	梁取 美夫	09
民法研究	新井 剛	09
イノベーション研究	清水 洋	09
グローバル経営	谷口 真美	09
International Corporate Strategy	エドマン ジェスパ	10

●会計トラック

現代管理会計論	長谷川恵一	10
現代の財務会計	川村 義則	10
財務報告と分析	奥村 雅史	10
企業価値評価研究	大鹿 智基	11
財務報告の研究	山内 暁	11
財務会計研究	八重倉 孝	11
Accounting, Economics and Society	スズキ トモ	11
会計・監査実務研究	関根 愛子	12
組織のデザインと管理会計研究	若林 利明	12
会計・ファイナンス・コーポレートガバナンス	河内山拓磨	12

●マーケティングトラック

現代マーケティング研究	恩蔵 直人	12
現代広告研究(2026年3月退職予定)	嶋村 和恵	13
マーケティング・サイエンス研究	守口 剛	13
消費者心理学研究	須永 努	13
Consumer Behavior Research	フランク ビョーン	-
マーケティング・コミュニケーション研究	石井 裕明	13

●ファイナンストラック

The World's Corporations in a Globalized Society	広田 真一	14
コーポレート・ファイナンス	谷川 寧彦	14
フィナンシャル・エコノミクス	尾崎 祐介	14
フィナンシャル・インベストメント	片桐 満	14

●保険・リスクマネジメントトラック

リスクマネジメント研究	李 洪茂	15
Study of Insurance from a Global Perspective	中出 哲	15
保険経営と数理	星野 明雄	15
保険法研究	中村 信男	15
貿易商務研究	田口 尚志	16
Study of International Trade Risk Management	任 素英	16

●ビジネス・エコノミクストラック

マクロ経済理論	片岡 孝夫	16
開発経済学研究	高瀬 浩一	16
数理計量分析研究	毛利 裕昭	17
コンピュータによる統計分析とその応用	坂野 慎哉	17
企業の経済学	久保 克行	17
計量経済学とその応用	片山 東	17
産業組織論研究	加納 和子	18
Empirical Study of Policy Evaluation	富 蓉	18
数理経済学研究	原 和弘	18
日本企業システムの経済分析(2026年3月退職予定)	宮島 英昭	18
国際経済学研究	横山 将義	19
日本経済史研究	小林 延人	19
国際経済関係研究	池尾 愛子	19
Economic and Business History: Global Perspectives	矢後 和彦	19
雇用労働研究	小倉 一哉	20
産業・企業ダイナミクス研究	宮川 大介	20
国際貿易と経済学	市田 敏啓	20
国際貿易研究	横田 一彦	20

●総合・学際科目分野

西洋哲学史理論研究	辻内 宣博	21
トポロジー理論研究	安原 晃	21
力学系理論研究	渡邊 展也	21
幾何学理論研究	山口 祥司	21
Second Language Acquisition	浅利 庸子	-
英語コミュニケーション研究	佐藤 詩恵	22
音声学・音韻論研究	篠原 靖明	22
スピーチアクト&ポライテネス研究	鈴木 利彦	22
SDGs実践プロジェクト(上級英語)研究	パウワー ジャック ビクター	22
英語辞書と出版	山田 茂	23
ドイツ文化研究	クラウド マヌエル フィリップ	23
メディア文化研究	柳橋 大輔	23
フランス映画研究	M. M. パルヴェーレスコ	23
スペイン地域研究	ロペスハラ サンティアゴ	24
東アジア文化研究	小川 利康	24
中国語圏の歴史とアイデンティティ	中村みどり	24

組織と戦略

藤田 誠 先生



■ 研究テーマ

経営学に関するテーマを幅広く扱います。経営戦略、組織構造をはじめ、コーポレート・ガバナンス、リーダーシップ、モチベーションなどに関するテーマも取り上げます。ゼミ論文作成に際しては、各人（各グループ）の興味を尊重します。

■ 活動内容

春学期は、教材を指定して輪読形式で実施します。秋学期は、グループでのゼミ論文作成と慶應義塾大学商学部小沢ゼミとのインゼミでの発表・討論がメインの活動になります。また、論文作成のため、統計に関する学習、統計ソフトの使い方なども学習します。

■ 新ゼミ生へ

ゼミは、各人の主体的な行動が期待されるという点をよく認識してください。

ゼミ Twitter:

https://twitter.com/fujita_zemi

人数：3年生 14人、4年生 15人 執筆：山本 雄大

ビジネスモデルと競争戦略

井上 達彦 先生



■ 研究テーマ

「成功した企業」と聞いてどんな企業を思い浮かべますか？いわゆるGAFAやAirbnbなどでしょうか。いずれの企業もサービスやアイデアは秀逸です。しかし、それだけでは「勝ち続ける」ことはできません。井上ゼミでは「ビジネスモデルと競争戦略」をテーマに、企業が成功し、勝ち続けるための裏側の目に見えない仕組みを研究し、明らかにしていきます。

■ 活動内容

井上ゼミでは、特定の企業のビジネスモデル分析から活動をスタートし、「ビジネスモデル研究・教育の起点をつくる」ことを目指して、実務界にも認められる研究成果の創出に取り組んでいます。ゼミでは、座学によって理論を学び、自問自答を立てたうえで、フィールドワークを通じてその答えを導き出すといった「理論と実践」の組み合わせにより学びを深めています。

■ 新ゼミ生へ

私たちのモットーは「考動する知識人」です。机の前で「学」ぶだけでなく、外に飛び出し、自ら問いを立て、考動しながら「学」ぶことを心がけています。このモットーに共感し、自身もそうした力を育みたいと強く思うみなさま、ぜひ井上ゼミと一緒に理論と実践による学びを体験しませんか？

ゼミ HP: <https://sem-inoue.waseda.jp>

人数：3年生 12人、4年生 8人 執筆：島田 航汰

企業法研究

和田 宗久 先生



■ 研究テーマ

和田ゼミでは企業法を研究テーマにしています。企業法ってなに？という方々が多いかもしれませんが会社は企業法の枠組みで成立しており実は我々にとって馴染みの深いテーマです。具体的にはM&Aやコーポレートガバナンスなど法律的な視点から様々な問題を深掘りして研究しています。

■ 活動内容

企業法に関連した研究課題を3-4

人のグループで文献や判例を用いて資料を作成し発表を行います。研究を進める過程で法制度や企業づくりの曖昧な部分を指摘し解決策を考え理解を深めることを目的に取り組んでいます。基本的には3-4年生と一緒に活動するので法律科目に不安があってもしっかりと指導していただけます。また夏休みにはゼミ合宿を実施し学年の垣根を越えて交流しています。

■ 新ゼミ生へ

当ゼミは商学部では稀な法律を扱っているゼミなので最初のうちは苦労することもあるかもしれません。しかし、幅広い分野の資料を活用するのでその過程で社会の動きを包括的に理解できる点は非常に魅力的です。また先輩・同期と分け隔てなく活動しているので充実した大学生活を送れます。ゼミ生一同皆さんご参加をお待ちしています！

人数：3年生 10人、4年生 3人 執筆：上村 健太

企業と環境・社会

谷本 寛治 先生



■ 研究テーマ

谷本ゼミナールでは、CSR（企業の社会的責任）をテーマに、企業が財務・非財務の両面において優れた経営活動を行っているかどうかを調査し、経営戦略や経営組織、コーポレート・ガバナンス等様々な切り口から研究しています。

■ 活動内容

3年生の前期は文献を要約し、グループに分かれて毎週レジュメを

作成、ディスカッションを行います。夏には3・4年生が合同でプロジェクト研究・合宿を行います。後期は早稲田祭や他大学との合同ゼミなどのグループ研究、企業との共同プロジェクトに取り組めます。4年生ではこれまでの集大成として卒業論文を執筆します。

■ 新ゼミ生へ

谷本ゼミでは能動的に活動する姿勢を大切にしています。基礎的な知識

をきちんと学んだ上で、プロジェクト研究などを通して、調査・プレゼンテーション・議論・論文作成の作法を身につけ、「論理的に考える力」や「コミュニケーション力」という人生の基礎となる力を磨き、常に成長し続けることができる環境があります。現4年生が最後の代であり、3年生の所属はなく新ゼミ生を募集することはありませんが、興味のある方はSNS等をぜひ見てください！

人数：4年生 11人 執筆：長尾 晃汰

経営戦略研究

山野井 順一 先生



■ 研究テーマ

3年前期には「世界標準の経営理論」と英語の論文を用い、ゼミ生とディスカッションを通して、経営理論について幅広く学びます。その後、メイン活動となるグループ・プロジェクトに入ります。ここでは、グループごとにテーマ設定、先行研究調査、データ収集・分析を行っています。ここでの目標は、プロジェクトの成果としての論文を

学内外の懸賞論文コンテストに出し、一等を取ることです。

■ 活動内容

私たちは、経営戦略に関する事例を定量的に分析し研究しています。ゼミでは様々な企業事例から経営戦略の理論に基づいて因果関係を導き、仮説を立て、統計を用いて検証します。これらの活動を通して、経営理論や統計学、語学、論理的思考力を体得することを目指

します。

■ 新ゼミ生へ

山野井ゼミでは、経営理論のみならず統計や英語論文、企業事例などを広く扱うとともに、論理的思考も求められます。よって向学心と多少の忍耐力が必要となります。将来役立つスキルを身に付けるために真剣に活動したい学生には、ぴったりのゼミです。ゼミ生一同、皆さんの参加を心待ちにしています。

人数：3年生7人、4年生2人 執筆：篠原 日向子

組織行動研究

村瀬 俊朗 先生

■ 研究テーマ

リーダーシップ、チームワーク、モチベーション、職務満足など、様々な組織の「人」に関するテーマを研究するゼミです。主に2人や3人一組の班を組んで、学生主導で課題や研究を行います。「どんなリーダーシップがチームワークに必要なか」「モチベーションはなぜ高まらないのか」など、みなさんも過去に一度は疑問に持ったことがあるのではないのでしょうか。村瀬ゼミでは、

これらの身近にある「人」の疑問に着目して仮説を練り、データ検証を通して、自分達の解を見つけます。

■ 活動内容

ゼミでは、「輪読とリサーチプロジェクト」を中心に活動します。3年生では、並行履修科目の組織行動論とゼミのレクチャーを通して組織の人にまつわる基礎知識を身に付けてもらいます。プロジェクトは、企業との合同もあれば、ゼミ内のみでの活動の場合もあります。

プロジェクトを通して、チームメンバーとテーマを議論し、データ分析を行い、自らの解が正しいかを検証し、結果をゼミ内や企業の方々に発表します。ゼミの2年間にいくつかのチームプロジェクトを行い、4年生の最後に総仕上げとしてグループで卒業論文に取り組むことで、「自らの頭で考え、議論し、行動できる」人材へ成長してもらうことが、ゼミの目標です。

■ 新ゼミ生へ

村瀬ゼミの目標は早稲田大学でユニークなゼミを作ることです。ゼミで研究に真剣に取り組み、加えて「work hard & play hard」の精神で学生生活を送りたい方々の応募をお待ちしています。

人数：3年生14人、4年生13人 執筆：村瀬 俊朗先生

Contemporary Strategic Management



マレン ジョエル 先生



■ 研究テーマ

This zemi focuses on developing skills for modeling and understanding the contexts in which modern business must operate. The complexity of the modern world means that effective business strategy must be a dynamic and evolving process that adapts to a changing business landscape. To address these challenges, managers must be able to identify causes and consequences of important change in both

the market and non-market environments of the firm.

■ 活動内容

The zemi focuses on the use of agent-based modeling and computational simulation to identify and understand the relevant factors influencing the coevolution of business and context. We also apply data analysis methods using the R programming language. Regarding content, we pay attention to reciprocal

relations between business and the natural environment. However, what we learn is useful across strategic management issues.

■ 新ゼミ生へ

Successful companies design strategies that leverage broader changes taking place in the world to innovate and remain competitive. Students will learn to recognize and respond to these complex issues by exploring how business influences society and society influences business.

人数：3年生3人、4年生5人 執筆：マレン ジョエル先生

応用組織論研究

三橋 平 先生



■ 研究テーマ

経営学、組織科学、経営組織論分野のゼミです。組織や、組織内の人材が、時代をリードし、変化に適応し、新しい価値を生み続けるためのメカニズムを実証的に研究することを目的としています。卒業研究のテーマは、就職や映画のデータを用いた研究、オンライン・ゲーム・サイ

トなどのレビュー・コメント分析、イノベティブな水着の特許分析、テニスのホーム・ゲームでの勝率データなど、自分の関心に沿いながら、正確な論証と実証に基づく卒業研究ができるようサポートしています。

■ 活動内容

ともかく楽しく、笑顔で、毎週のゼミが待ち遠しくなるように

運営しています。3・4年生合同のゼミで、和気あいあいと学び合えるのが大きな特徴です。

■ 新ゼミ生へ

大学時代に自分の将来に影響を与えるような出会いに恵まれることを願っています。

人数：3年生5人、4年生2人 執筆：三橋 平先生

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネス・エコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

Managing Human Resources

梁取 美夫 先生



■ Theme

Our research group explores how organizations can effectively manage their workforces to achieve their goals. Our interests extend beyond national borders, examining a wide range of management practices—such as recruitment, selection, and compensation—adopted by organizations around the world.

■ Activities

Our activities are designed to strike a balance between research and practical application. Students will develop the ability to: (1) read and critically analyze academic research articles, (2) apply research insights to real-world organizational management practices, and (3) conduct research to address their own business-

related questions.

■ Message

ゼミでは英語と日本語を併用します。最新の研究とマネジメントに興味のある学生、ゼミやGMPの活動を通して自分を高めたいと考えている学生と一緒に学びたいと考えています。

人数：3年生 12人（2名留学中）、4年生 7人 執筆：梁取 美夫先生

民法研究

新井 剛 先生



■ 研究テーマ

新井ゼミでは、社会の礎ともいえる民法を研究します。民法は一般市民のための法律であり、私たちに最も身近で重要な内容です。私人間のトラブル解決に役立つだけでなく、今日のビジネスで重要なコンプライアンスの意義も深く学べます。

■ 活動内容

①民法の構造を理解した上で、

近年相次いでいる民法改正の内容や背景等を学びます。②実務への影響が大きい最高裁判所による「判例」の内容や意義を皆で検討します。③法律問題をテーマとするシネマの鑑賞を通して、日本の法制度の問題点を考察します。

■ 新ゼミ生へ

主体性を持って研究に取り組み、就活や公務員試験の準備、

体育会、サークル等との両立がしやすいゼミです。ゼミ生同士の仲が良く、大変雰囲気の良いです。教授の、民法を解説する際とユーモアあふれる雑談をする際の表情のギャップが魅力です！私たちと楽しく民法を学びましょう!!

人数：3年生 18人、4年生 16人 執筆：大竹 慎吾、安留 千世、寺西 雛代、岡部 健太

イノベーション研究

清水 洋 先生



■ 研究テーマ

イノベーションを企業の競争戦略や組織構造、産業組織の観点から歴史的に分析しています。大きくは、(1) イノベーションにはどのようなパターンがあるのか、(2) イノベーションのパターンに影響を与えるのはどのような要因があるのか、(3) 企業はイノベーションのパターンをどのように戦略的に活用できるのかの3点を中心に

分析をしています。

■ 活動内容

ケースや論文、書籍などを読むとともに、実際に分析や提案を行っています。とにかく巨人の肩ののぼります。OB,OGとのコミュニティも大切にしています。

■ 新ゼミ生へ

2019年から開講した新しいゼミです。これからどのようなゼミになっていくのか楽しみです。やる

ことは多いとは思いますが、それだけ得るものも多いはず。楽をしたい人はぜひ遠慮してください。せっかく大学にきたのだから、ゼミに入って勉強した方がいいよ。できるだけ濃い議論をと思っているので、人数は8〜10人程度と絞っています。

<https://sites.google.com/site/hiroshishimizu529/introduction>

人数：3年生 11人、4年生 10人 執筆：清水 洋先生

グローバル経営

谷口 真美 先生



Cranfield 大学
EMBA との交流

韓国合宿
国民大学校にて



■ 研究テーマ

グローバル経営、ダイバシティ・マネジメント

■ 活動内容

多国籍企業が行う国境を越えた経営を、戦略論と組織論の観点から学びます。特に、人材をいかして企業価値向上につなげる人的資本経営が注目されているなか、ダイバシティ・マネジメントの観点から調査・分析・考察を行います。具体的な活動として、
1. 最新の論文についての議論

2. 海外大学の学生との議論・交流（今年度はイギリス Cranfield 大学の EMBA 生と議論・交流を実施）
3. 特定企業についての研究発表会（昨年度は伊藤忠商事、三井不動産、オムロン、MSD、住友電工にご参加いただきました）
4. 海外での企業訪問およびインタビュー調査があり、学術と経営の実践の両面から学びます。昨年度は韓国で JETRO、韓国 JFE スチール、東友ファインケム、韓国住友電工エレクトロニクス、韓国貝印、

Olive Young、国民大学校を訪問し、今年度はベトナムでの研修を予定しています。卒業生の進路は住友商事、丸紅、アクセンチュア、ソニー、メガバンク各社など、OB・OGとの繋がりも魅力です。

■ 新ゼミ生へ

主体的にゼミに取り組みたい方、多様な人々との交流から学びたい方、議論を活性化し結論に導く力を身に付けたい方、グローバルリーダーとして活躍したい方、谷口ゼミにてお待ちしております。

人数：3年生 7人（うち2人留学中）、4年生 8人（うち2人留学中） 執筆：小池 清香

International Corporate Strategy



エドマン ジェスパール 先生

■ Research Theme

In this zemi we investigate the dynamic and complex international business environment. We focus on business-related strategy – including foreign market entry, innovation, local adaptation, M&A – but also on the business-society

interface, including issues related to climate change, political stability, and social development.

■ Activities

The zemi offers a range of different activities, including group work and presentations, online simulations, meetings with company representatives,

case study discussions, and interactions with foreign visitors. Zemi students will also get the opportunity to take part in the GMP forum with other students enrolled in the Global Management Program.

■ 新ゼミ生へ

The goal of this zemi is to

help you gain the skills and confidence to work in a global business environment. If you are thinking of working in an international context and care about global business and society, this is a good choice for you!

人数：3年生 0人、4年生 10人 執筆：Jesper Edman 先生

現代管理会計論

長谷川 恵一 先生



■ 研究テーマ

企業の意思決定や業績管理等に用いられる「管理会計」を中心とした研究を行っています。管理会計は経理・会計の範囲のみならず経営戦略・マーケティングなどの分野とも密接に関わっているため、自身の興味に合わせて幅広い分野の研究に挑戦できます。

■ 活動内容

ゼミ内定後に、管理会計とプレゼ

ンの基礎知識を身に付けるため、2年生の秋学期に4年生指導のもと「メンターゼミ」を行います。3年生春学期には、仮想企業を経営し、会計や経営戦略が業績に与える影響を体験する「ビジネスゲーム」を行い、結果の分析をします。秋学期はグループに分かれて研究を行い、他大学との合同研究発表会「インゼミ」を行います。4年生は卒業論文作成が中心です。ま

た、年に2回（春と夏）に合宿を行っています。

■ 新ゼミ生へ

当ゼミは学びの場・交流の場として価値のある環境です。当ゼミ生同士での交流は勿論、他のゼミ生や社会の様々な領域で活躍している卒業生と交流する機会も多いです。一緒に素敵な時間を作っていきましょう！皆さんのご参加お待ちしております！

人数：3年生 16人、4年生 14人 執筆：奥 昂樹

現代の財務会計

川村 義則 先生

■ 研究テーマ

川村ゼミでは、公認会計士となることを希望する学生を募集しています。財務会計・簿記に関する基礎的な知識とそれを応用する能力の習得を目標とします。財務会計に関する様々なトピックスについて、会計基準をベースとして、基礎的な概念やルールを学ぶとともに、ケースワーク（問題の作成）

などを通じた能動的な学習をしていきます。

■ 活動内容

3年生は、財務会計に関する基礎知識をしっかりと身につけることから始めます。財務会計の領域ごとに、まずは基礎的な用語やルールの確認を行った後、主要な論点を網羅する択一問題の作成・解答や簿記的な知識を確認するための

ケースワークを行っていきます。企業の実際の有価証券報告書を用いた読解や分析を行います。また、後期には他のゼミを交えた研究発表会（インターゼミ）も企画しています。4年生は、卒業論文の制作が主な活動になります。例年、主要な会計問題に関する会計基準研究や財務諸表分析を通じた企業研究などがテーマとして選ばれてい

ます。

■ 新ゼミ生へ

当ゼミでは、公認会計士を目指すことを旗印として頑張っています。志を高く持って、ともに学び、やり遂げる意欲のある学生の応募を期待しています。

人数：3年生 11人、4年生 7人 執筆：川村 義則先生

財務報告と分析

奥村 雅史 先生



■ 研究テーマ

企業情報の中核である会計情報の有用性を多角的に検討します。とくに財務会計の機能（情報提供機能や利害調整機能）について理論的に理解し、財務データや株価データを分析することによってその機能を分析します。分析スキルを身に付けながら専門知識を深めることがポイントです。

■ 活動内容

3年生は、専門性の高い文献の輪読

によって財務会計の機能を深く理解し、関連事象についてPCによるデータ分析を行います（ゼミはPC教室で実施）。また、サブゼミを利用して日経STOCKリーグに参加します。そこでは、ビジネスの存在意義を検討しながら投資テーマを決定し、これを実現する株式投資を提案します（昨年度は3チーム中3チームが1次審査を通過、うち1チームが入選）。4年生は卒業論文の作成と幅

広い分野の文献の輪読をします。なお、合宿、公的機関や企業の見学、OB・OG会、他ゼミと合同のインターゼミを行います。

■ 新ゼミ生へ

ビジネスについてPCを利用したデータ分析、論文執筆、プレゼンをやりたい人（PC初心者でもOK）はぜひ参加してください。
Instagram: https://www.instagram.com/okumura_seminar/

人数：3年生 16人、4年生 15人 執筆：ゼミ生一同

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネス・エコノミクストラック

● 総合・学際科目分野

企業価値評価研究

大鹿 智基 先生



■ 研究テーマ

このゼミでは企業価値評価という分野について学びます。企業価値評価は、財務諸表を読み解く会計の知識に加えてマーケティング戦略への理解、経済学を利用した市場動向の把握などの商学にまつわる分野と、政治の動向や環境問題などの商学以外の分野から、企業の将来性を幅広い視野で見ることが出来る学問です。この分野で使われる知識は M&A や株式投資、企業の課題解決など、様々な戦略的判断を下す際にも活用されています。

■ 活動内容

活動内容は毎年異なりますが、今年度春学期の活動の1つに輪読があります。輪読では文章の内容をまとめて発表する報告と、論点を探して議論を行う討論を行います。報告では表現力、討論では考察力を身につけることを目標としています。また秋学期には発想力と論理的な文章を書く能力を身につけるために、論文を執筆します。その他にもゼミ生同士の仲を深めるために、月一企画や年一企画という交流イベントを企画しています。加えて他大学との合同ゼミ合宿ではビジ

ネスゲームを行うため、ゼミ生以外とも交流しながら学ぶ機会があります。

■ 新ゼミ生へ

このゼミでは会計の知識を応用するだけではなく、企業価値評価という研究テーマで様々な学問を融合して学びます。また毎年ゼミの目標を自分たちの代で設定し、それに沿った活動内容を決定するため、自由度が高いです。積極的に行動できる主体性のある人、責任感があり、継続して物事に取り組める人をお待ちしています！ぜひ私たちのゼミと一緒に活動しましょう！

人数：3年生 12人、4年生 6人 執筆：ゼミ生一同

財務報告の研究

山内 暁 先生



■ 研究テーマ

会計を中心としつつ、他分野（マーケティング・経営戦略など）と融合させて学びます。

社会に出てから会計を学び直す人は多いでしょう。「会計がわからなければ真の経営者になれない」（稲盛和夫）という言葉が表すように、会計リテラシーはビジネスに必要不可欠です。なぜなら、会計がビジネス活動を表すストラクチャーであり、ビジネスの共通言語であるためです。ビジネスの共通言語である会計は、社会に出てからの強い武器となるでしょう。なかには「会計は味気ない」と感じる人もいるかもしれません。そう感じる

のは、会計を単独でみているためかもしれません。しかし実は、会計は他分野と切っても切り離せないものです。それらを一体として学べば、会計が面白くなります。私達は、知識の丸暗記などではなく、生きた会計と戦略思考を学びます。

■ 活動内容

● 3年前期：輪読（会計ファイナンス等を扱う教科書を使用）、5分間プレゼン
● 3年後期：インゼミ（知識を実践）、5分間プレゼン

● 4年：卒論執筆

■ 新ゼミ生へ

● どのような方に おすすめ？

- ・会計と他分野を融合させて学びたい方
 - ・資格勉強などと両立したい方
 - ・ゼミを楽しみ、生涯の思い出を作りたい方
- X: @yamauchi_zemi (右上 QR コード)
YouTube: <https://m.youtube.com/channel/UCdVH3flmJCQ9GPYT6ad2i3g>
HP: <http://yamauchizemi.wix.com/yamauchizemi>



人数：3年生 20人、4年生 20人 執筆：ゼミ生一同(代表 野中 友弥)

財務会計研究

八重倉 孝 先生

■ 研究テーマ

国際分野を中心とした財務会計の理論について体系的に学び、会計情報の作成者や利用者の視点から分析を行います。また、会計情報が市場に与える影響などを経済学や統計学の視点を織り交ぜ、実証的分析を試みます。

■ 活動内容

3年次前半は財務会計の応用書を扱

い、個々のトピックについてプレゼンや議論を行います。並行して論文作成やプレゼンの技術を学びます。後半にはより発展した議論を応用書を用いて行い、グループでの論文作成を行います。4年では主に個人の卒業論文作成に取り組みます。また、夏合宿や、東京証券取引所日本銀行等の見学を行います。

■ 新ゼミ生へ

本ゼミは創設8年目のゼミです。ゼミ生が主体となり、先生と協力して運営しているのが特徴です。新しいゼミならではの自由で柔軟な活動ができます。ゼミで得られたさまざまな知識と経験は卒業後も必ず大きな力になると思います。財務会計学に興味がある人や、学問を学ぶ上で論理的に考えるのが

好きな人、その力をつけたいと考えている人は、ぜひ私たちのゼミと一緒に学びましょう。（なお、担当教員が2024年度から特別研究期間中のため、本年度は新規ゼミ生の募集を行わない予定です）。

人数：3年生 0人、4年生 0人 執筆：八重倉 孝先生

Accounting, Economics and Society



スズキ トモ 先生



■ 研究テーマ

「Account+ing（説明＋行為）による新しい現実の構築」を共通のテーマとし、ビジネス、経済、国際関係、サステナ等の分野で学生が主体的にテーマを選び研究を進めています。スズキ教授と共に研究を進める場合には、日本をはじめ世界が直面する成熟経済社会下の持続的発展政策や Well-being 政策を研究します。従来の株式会社や上場制度

における利益（＝株主に帰属させる付加価値）最大化経営を見直し、付加価値の適正分配経営（DS 経営）を推進します。このような考え方は岸田・石破政権下の「新しい資本主義」構想を構成し、上場企業による適用が進められています。

■ 活動内容

多くの学生が DS 経営推進のために上場企業の社長や役員と協働し、或いは財務、法務、デジタル、文

科大臣や総理補佐官らの下での長期インターンを通して実際の政策推進に貢献しています。

■ 新ゼミ生へ

社会課題解決型のビジネスや研究にたずさわることで、社会に対する責任を自覚するとともに、それが自身の遣り甲斐やプライドや幸せにつながることを感じています。ご一緒にどうぞ。

→ x.com/tomo_accounting

人数：3年生 7人、4年生 5人 執筆：ゼミ員一同

会計・監査実務研究

関根 愛子 先生



■ 研究テーマ

実務に直結した学問である会計や監査を将来活かしていくために、授業で学んだ基本的な内容や考え方を踏まえ、どのように実務で使われているのかを知り、どのように

使われるべきかを考え、議論していきます。

■ 活動内容

会計や監査は国際的に標準化しているものの、実際のビジネスは一律ではありません。そのため、会計処理や監査の業務には常に

判断がつきものであり、それをコミュニケーションしていくことが重要です。本ゼミにおいては、実際のビジネスや実務を踏まえた生きた議論を行い、どのように対応していくべきかを考えていきます。具体的なイメージを持つための企業等への訪問も積極的に行っています。また、3・4年合同での夏合宿や年二回ほど企業訪問を行っています。

■ 新ゼミ生へ

「会計」「監査」と聞くと機械的に当てはめるだけ、地味といったイメージがあるかもしれませんが、実際には、従うべき基

準を作るにも様々な背景があり、基準に従って処理するのにも企業のビジネスをどうみていくかで議論が分かれるものであり、実務はとても奥深いものです。担当教員のこれまでの実務経験を通じて得た様々な会計や監査の実務を学び、メンバーで議論できるこのゼミは、基礎を学んだものの、なぜそうになっているか、実務はどのように動いているか気になる方に適しています。皆さんの積極的な参加を心からお待ちしております。

人数：3年生 18人、4年生 25人 執筆：ゼミ生一同・教員

組織のデザインと管理会計研究

若林 利明 先生



■ 研究テーマ

経営組織や経営戦略のデザインに管理会計システムが果たす役割を学びます。組織目的達成のためには、①誰が意思決定を行い、②いかに業績（成果）を測定し、③いかに褒賞するか、という「組織設計」を作り込む必要があります。管理会計システムは土台として、その成否に大きな影響を及ぼします。若林ゼミでの学びを通じて、会計

は無味乾燥な数字の羅列ではなく、その中心には常に人間がいることを実感してくれると嬉しいです。

■ 活動内容

3年生春学期は基本的な専門知識を習得します。秋学期にはグループごとに研究テーマを決め、企業訪問をしたり、他大学と合同で研究発表をする「インゼミ」を行います。4年生は卒業論文を執筆します。論文のテーマは個人の関心

に応じて自由に設定できます。

■ 新ゼミ生へ

「会計＝難しい」と思っていませんか？若林ゼミでは具体例を交えた多角的な学びで、会計を楽しく理解できます。熱心でユーモアがあり、生徒の主体性を尊重してくれる先生の下で、共に良いゼミを作りましょう！2期生の皆さんのご参加お待ちしております！

人数：3年生 20人、4年生 1人 執筆：大谷 郁心、佐藤 永治

会計・ファイナンス・コーポレートガバナンス

河内山 拓磨 先生

■ 研究テーマ

河内山ゼミでは、財務会計を基礎としながら、企業をめぐる様々な問題について分析していきます。情報化が進むなか、会計が持つ独自の役割は何か？コーポレートガバナンスの変容が会計行動や企業行動に及ぼす影響は何か？増え続ける株主への配当は適切なのか？経営者の能力は会計データから定量化でき

るのか？こうした幅広いテーマや問いについて、会計学を軸とした「総合格闘技」を行うのが特徴です。

■ 活動内容

春学期は、テキストを輪読しながら基礎知識と日本・世界で「いま」起きていることに対する理解を深めます。秋学期以降は、統計解析などの分析ツールを学びながら、企業分析やデータ解析を実践していきます。

モノの見方や興味関心が広がるようなインプット、そして「研究」という知的成果のアウトプットにつなげていくことを意識しています。

■ 新ゼミ生へ

河内山ゼミのモットーは、「楽しく知的生産」。勉強は自分のためだけにに行いがちですが、得た知識を融合して「何か」を創り出し、世界に広く貢献していくことも大事で

す。新しい発見や見方を創り出すことに喜びを感じ、クリエイティブかつ能動的に活動したい人をお待ちしています。なお、河内山ゼミは新しいゼミですが、前職・一橋大学でのゼミ出身者は、証券、コンサル、銀行、メーカー、監査法人、広告代理店、証券取引所、大学院進学など幅広い業界へと巣立っていています。

人数：3年生 2人、4年生 0人 執筆：河内山 拓磨先生

現代マーケティング研究

恩蔵 直人 先生



■ 研究テーマ

ブランド戦略、製品市場戦略、市場参入戦略など、幅広いマーケティング戦略を深く掘り下げます。学生主体で研究テーマを設定し、発表することで、マーケティングの本質を理解し、主体的に学ぶことができます。

■ 活動内容

週1回の本ゼミと週2回のサブゼミで、4～5人のグループに分か

れて研究発表を行います。先生と学生からのフィードバックを通じて、マーケティング知識を深め、多角的な思考力を養います。サブゼミでは、学生主体で活動内容を決定し、議論を深めます。さらに、ビジネスコンテストへの参加や企業とのワークショップなど、実践的な学びの機会も充実しています。

■ 新ゼミ生へ

恩蔵ゼミの魅力は、学生が主体的

に活動できる環境です。研究テーマ設定や議論を通して、自主性と協調性を養えます。また、体育会や留学と両立しやすい環境も整っています。35年の歴史の中で培ってきたOB・OGとのネットワークも強みです。熱意と高い意識を持ち、互いに刺激を与え合いながら成長できる仲間を求めています。

人数：3年生 22人、4年生 23人 執筆：平山 翔大

● 経営トラックス

● 会計トラックス

● マーケティングトラックス

● ファイナンストラックス

● 保険・リスクマネジメントトラックス

● ビジネス・エコノミクストラックス

● 総合・学際科目分野

現代広告研究

嶋村 和恵 先生



■ 研究テーマ

広告だけでなく、広くマーケティング、消費者行動、社会について考えていきます。

■ 活動内容

本ゼミでは考え方の基礎を学び、サブゼミで実践する方法です。サブゼミにはさまざまな組織が課題を提供してくれました。山形県、唐津市のような自治体からの課題、岡本、木村石

鯉、キャンノン、麒麟ビール、麒麟ビバレッジ、クボタ、サッポロビール、サントリー、サンシャイン水族館、西武鉄道、仙台89ers、電通、東映、日清食品、日本航空、文化シヤッター、本田技研工業、村田製作所、ロッテ（五十音順）といった多くの企業から生きた課題をいただき

ました。ゼミ生は、半年から1年近く一つの課題に取り組むことで、多くを学ぶことができました。協力してくれた組織、企業には心から感謝しています。

人数：3年生0人、4年生21人 執筆：嶋村 和恵先生

マーケティング・サイエンス研究

守口 剛 先生



■ 研究テーマ

マーケティング・サイエンスとは、マーケティングにおける諸問題に対しデータ分析などの科学的手法を適用することで、マーケティング上の意思決定の質を向上させる方法論を研究する学問分野です。デジタル化が進み多くのデータが集まる現代において、科学的な視点を踏まえてマーケティングを行うことの重要性はますます高まっています。

■ 活動内容

毎週行われる本ゼミ・サブゼミに加え、春季

期は他大学と合同で行う「インターカレッジゼミ」、秋学期は「関東学生マーケティング大会」への参加が主な活動です。これらの活動を通して、マーケティングに関する知識はもちろん、プレゼン能力やロジカルシンキング、統計的データ解析といった将来にも繋がるビジネス・スキルを身につけることが出来ます。

■ ゼミの特徴

守口ゼミの大きな特徴として「熱量の高さ」が挙げられます。特に最大の活動である「関東学生マーケティング大会」での優勝を目指

し、ゼミ生は日々全力でゼミ活動に向き合っています。ゼミ生ひとりひとりが主体性を持ち、絶対に目標を成し遂げるという強い気持ちを持って活動しています。このような仲間と共通の目標に向かって活動できる熱量の高い環境は、守口ゼミでしか味わえない貴重なものだと考えています。下記のWebサイト・SNSでは、活動の詳細からゼミの様子まで様々な情報を発信しています。
HP ▶ <https://moriguchihp.wixsite.com/moriguchi-seminar>
Instagram ▶ [moriguchi_zemi](https://www.instagram.com/moriguchi_zemi)

人数：3年生19人、4年生21人 執筆：中山 心吾

消費者心理学研究

須永 努 先生



■ 研究テーマ

消費者の意思決定・行動に関する要因を、心理学の視点から分析します。それを基に消費者と商品・サービスを効果的に繋ぐ手法を研究します。

■ 活動内容

週に一回の本ゼミと二回のサブゼミがあります。通年研究では、消費者心理に関したテーマでグ

ループ研究を行います。また、大きなイベントは合同ゼミと企業コラボの二つです。合同ゼミでは、通年研究の内容を他大学と発表し合い、企業コラボでは研究活動で得た知見を基に、商品開発等の実践的なマーケティング活動を行います。

■ 新ゼミ生へ

須永ゼミの魅力は主体性です。

言われたことを行うのではなく、ゼミ生が主体的に「何をしたいか、すべきか」を探索し、熱心にゼミ活動に取り組むため、ゼミ生によるゼミ運営が行われます。須永ゼミのゼミ生は皆、仲が良いだけではなく、向上心を持った学生の集まりです。活動内容等に興味がある方は是非、申し込んでみてください！

人数：3年生20人、4年生17人 執筆：亀井 佳音

マーケティング・コミュニケーション研究

石井 裕明 先生



■ 研究テーマ

マーケティング・コミュニケーションを中心に、様々なマーケティングの課題に取り組んでいます。消費者としての直感や経験を大切に、関連分野の学術的な理論やフレームワークから消費者の反応を正確に把握し、自分たちなりの実務的示唆を導くことがゼミの目的です。

■ 活動内容

3年次の活動では、実務家の方から課題をいただいて取り組むグループワーク、他大学との研究発表会、学会でのポスター発表、学外の学生論文コンクールへの投稿などを行う予定です。また、合宿などのイベントも実施していきます。

■ 新ゼミ生へ

石井ゼミは、2024年から開設されたゼミです。活動内容やイベントなどについては、皆さんの要望なども踏まえながら活動内容を決められればと思います。積極的かつ真面目に取り組んでくださる方の応募をお待ちしております。

人数：3年生22人、4年生21人 執筆：小林 治比古

The World's Corporations in a Globalized Society



広田 真一 先生



台湾の大学でのプレゼンテーション

■ 研究テーマ

世界中の企業の経営について学びます。企業の目的、行動、戦略、ファイナンス、ガバナンス、パフォーマンス（収益性、成長性、ESG）等を国ごとに比較し、各国の企業の共通点と相違点とを考察します。そして、そうした国ごとの企業の特徴が、その国の経済、法律、文化、宗教などから生じているかどうかとも検討します。

■ 活動内容

ゼミでは、世界の企業、経済、法律、文化、宗教等の知識を身につけ、分析力・考察力を高めるとともに、英語と日本語のどちらでもプレゼンテーション、ディスカッション、ライティングができるようにします。また、今や広田ゼミの伝統となった慶應義塾大学や一橋大学とのインターゼミ（日本語で実施）、中国・香港・台湾・韓国・シンガポールなどの海外の大学の学生との共同学習（英語で実施）も行います。

ルなどの海外の大学の学生との共同学習（英語で実施）も行います。

■ 新ゼミ生へ

ゼミでの学習に情熱を持って取り組み、君たちの資質とポテンシャルを著しく伸ばし、10年後に日本で、あるいは世界で、グローバルな社会に貢献する人になることを願っています。

人数：3年生 12人、4年生 10人 執筆：広田 真一先生

コーポレート・ファイナンス

谷川 寧彦 先生



■ 研究テーマ

ファイナンスと機械学習です。主に金融関連の数値データと機械学習の手法を用いて予測や分類を行います。健康診断でコレステロール値が高いと運動量を増やすようアドバイスされることが多いのですが、データ上は運動量が多い人はコレステロール値も高いという傾向があります。

す。このようなパラドックスを解決する手段も学びます。

■ 活動概要

使うプログラム言語はPythonです。基本を習得した後、ある日の株価の騰落を前日までのデータから予測するモデルを推定するなど、具体的な応用例を学びます。また、他大学とディベート交流試合も行います。

■ 新ゼミ生へ

時間を守り自分の守備範囲はきちんとこなすなど、チーム活動ができることが前提です。各人がゼミでやりたいことを互いに調整し、ゼミとしてまとまった活動ができれば、有益な2年間になると思います。

人数：3年生 14人、4年生 8人 執筆：谷川 寧彦先生

フィナンシャル・エコノミクス

尾崎 祐介 先生



■ 研究テーマ

行動経済学の視点から金融を学ぶゼミです。心理学と経済学を組み合わせた行動経済学のテーマである「なぜ人間は非合理的な行動をするのか」を切り口に、金融分野の研究を行います。

■ 活動内容

3年生では行動経済学の教科書の輪読を行いつつ、グループに分

かれて商学部懸賞論文に向けて準備を進めていきます。研究を進めるなかで、ビブリオバトルやゼミ合宿、他大学との合同ゼミを行い、多くの発表機会を設けています。またグループ活動が中心なので、ゼミ生と切磋琢磨しながら学ぶことが出来ます。

■ 新ゼミ生へ

尾崎ゼミではメリハリを大事に

活動しており、学んだことをアウトプットする機会が多くあります。金融をメインとしたゼミではありますが、ゼミ生が興味ある分野を行動経済学の観点から学ぶことが出来ます。学生の主体性を重視し、学生が新しい取り組みを提案することも可能です。学生生活最後の2年間で尾崎ゼミで有意義なものにしましょう！

人数：3年生 0人、4年生 12人 執筆：江崎 美紗希

フィナンシャル・インベストメント

片桐 満 先生



■ 研究テーマ

ファイナンスや株式投資について研究しています。ポートフォリオ理論の基礎的な勉強から始め、プログラミングを用いたポートフォリオ構築や、データ分析を通じた投資テーマの選定について学びます。

■ 活動内容

ファイナンスやデータ分析の教

科書を輪読しながら、教科書で学んだ理論をデータ分析に応用してもらいます。データ分析については、そのためのプログラミング演習も取り入れます。並行して、ストックリーグという株式投資コンテストに参加し、数人のグループを作って、自分たちで選んだテーマに沿って投資先を選んでもらいます。コン

テストへの参加は、4年生は必修、3年生は任意参加の予定です。

■ 新ゼミ生へ

投資経験のある方や金融機関への就職を考えている方はもちろん、金融に少しでも興味のある人たちが、幅広く楽しめるゼミにしたいと思っています。

人数：3年生 15人、4年生 0人 執筆：片桐 満先生

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネス・エコノミクストラック

● 総合・学際科目分野

リスクマネジメント研究

李 洪茂 先生



私たちのゼミは、毎週1人がプレゼンテーションを担当し、討論を行う形式です。急変する国際情勢と経済状況の中で企業が散在しているリスクを予想し、管理することはさらに重要になっています。そのような時代に企業はどんなリスクを考え、どのようなリスク管理方法を行うことが望ましいか、その手段

について学びを進めています。

■新ゼミ生へ

こんにちは。私たち李ゼミは、商学部で1番ユニークなゼミです。オープンな環境で、手を挙げればやりたいことを実現できます。ゼミ生同士はもちろん、先生との仲も良く、授業内外で様々なイベントを開催しています。昨年度は、韓国のソウルで

ゼミ合宿を行いました。楽しみながらもゼミ活動に取り組める方、ぜひお待ちしております。

人数：3年生0人、4年生23人 執筆：大西 玲奈

Study of Insurance from a Global Perspective



中出 哲 先生



■研究テーマ

保険を題材にしていますが、ゼミで扱うテーマはとても広いです。保険は社会の様々な領域に関わっているためです。特に、外国の保険制度やグローバルな保険に関心を持っています。研究テーマはゼミ生が議論して決めます。昨年度は、東南アジアの自然災害・DX化・日本の農業問題に対する新保険の構築に取り組みしました。

■活動内容

昨年は例年同様、年間を通して開催

される「保険アイデアコンペ」に向けて、新保険制度の発案に取り組みしました。(2025年度も無事優勝し、韓国本戦の日本代表枠を勝ち取りました！) 秋には「東京学生保険ゼミナール」の参加に加えて、日本代表として参加した韓国での「保険アイデアコンペ」にて英語で新保険制度を提案し、特別賞もいただきました。このように活動内容は国内外幅広いものとなっています！

■新ゼミ生へ

本ゼミは多様な分野に強みをもつ学生によって主体的に運営を行う点に特徴があります。そのため、自ら主体的に活動することが大切です。また、多様な学生が在籍しているからこそ、何かに挑戦しようとするゼミ生を全力で応援する環境が揃っています。進路も様々で、就職に限らず、長期留学する者や国内外の大学院に進学する者など多岐にわたります。

人数：3年生12人、4年生9人 執筆：中島 咲良

保険経営と数理

星野 明雄 先生



■研究テーマ

保険会社の戦略や保険事業の特性などから題材を取り上げて研究します。ゼミ生がテーマを考え、投票で自身が研究を行うグループを決定します。半期ごとにテーマは変わりますが、通年で同じテーマを研究することも可能です。研究テーマに応じて数理的な考察を行います。数学の知識は特に必要ありません！(ゼミ長の基礎数学の評価はCでした！)

■活動内容

今年度は「自動運転の普及による自動車保

険のあり方」「保険新商品の開発」などのテーマで研究を行っています。1チーム5人ほどに分かれて発表準備を行い、グループディスカッションを通してテーマについての理解を深めます。また、今年度はそれらの研究テーマを基にし、他大学との合同発表会やアイデアコンペなどにも参加予定です。

■新ゼミ生へ

本ゼミは開講して4年目の新しいゼミです。先生は優しくなんでも相談に乗ってください。保険会社での豊富な勤

務経験から、発表について沢山の助言をいただけます。ゼミ生も皆個性豊かで、先輩後輩別け隔てなく温かい雰囲気の中で活動しています。保険に関して、経営学やマーケティング、時事問題など様々な観点から学ぶことができる点も大きな魅力です。保険を取り扱うゼミは他の大学を見てもそれほど多くなく、他では得ることのできない貴重な経験や知識を身につけることができます。少しでも気になった人はぜひ説明会に来てみてください!!

人数：3年生8人、4年生6人 執筆：妹尾 舜太郎

保険法研究

中村 信男 先生

■研究テーマ

このゼミは、「保険・リスクマネジメント」トラックに新たに設置する専門演習であり、保険制度等を法的な観点から研究することを目的とする。すなわち、保険制度が、保険契約者と保険者間の保険契約を前提として利用されるものであり、契約当事者間の関係のみならず、保険者と損害保険の被保険者・生命保険

の保険金受取人との関係等も、法律上の権利義務の問題として捉える必要があるため、当該トラックで保険制度を学習するに当たり、保険契約法の観点からするアプローチは不可欠である。そこで、本ゼミでは、保険契約締結における保険契約者等の告知義務や保険者(および代理店)の説明義務、保険金の支払・保険者の免責、保険金不正請求に対す

る法的規律等につき、裁判例をケーススタディの素材として用いて、保険制度を法的に検討する。

■活動内容

本ゼミは、上記のテーマにつき、予め割り当てられた裁判例を素材としてゼミ生にプレゼンテーションを行ってもらい、その後、ディスカッションを行うことを基本的な活動内容とした上で、業界関係

者をゲストスピーカーとして招くこと等を予定している。

■新ゼミ生へ

本ゼミは、従来「会社法研究」という名称のゼミを経営トラックで開設していた担当者が、保険トラックに移ったことに伴い新設するものであるが、保険制度を法的にも学んでみたい場合は、奮って応募して欲しい。

人数：3年生2人、4年生8人 執筆：中村 信男先生

貿易商務研究

田口 尚志 先生

■ 研究テーマ

本ゼミは「貿易」を、とにかく具体的に、客観的に、ありのままに観察し、そこから物事を考えてみようというゼミです。必然的に、オペレーション・レベルの現場を大切にしてくる姿勢をとりませんが（「板子一枚下は地獄」を感得する当事者意識を養いたい）、より上層レベルの事象も重視しながら（国際関係に絡んだ高次元の諸問題にも関心を持ってもらいたい）、「貿易」を考えてゆきます。要は、「貿易」を様々な角度から研

究し大学4年間の集大成である卒業論文に活かす。これが田口ゼミの研究テーマです。

■ 活動内容

ひたすら地味な内容です。安価でどこでも読める文庫や新書を中心に、できる限り多くの、幅広い内容の本一傾向としては歴史を重視したものが多い一を読み、考え、議論し、また考える。そして、それを卒業論文に活かし、仕上げてゆく。これらのごくごく普通のごくごくありふれた一連のプロセスです。大きなジャンプをするには大きく屈まなければなら

ません。「将来のために一度大きく屈んでみるか」と心を決めた学生に、とくに、いつでも容易に他者と繋がる今だからこそ、孤独になって物事を見つめ書庫に潜りこんで考えてみたいという学生に（ほんの少しでもそこに価値を見い出せる学生に）、来てもらいたいと思っています。ゼミは3・4年合同で行います。今年も例年通り多くの本を読む予定を組んでいます。参考までにゼミ3年生が本年度中に読むのは、『ザ・フェデラリスト』、『アメリカ外交50年』、『民間防衛』等を含め合計30冊（他

に英語論文も数本）ほどに上ります。少しきついかもしませんが本学の学生はそれをこなす能力を十二分に持っているので、積極的にトライをしてもらいたいと思っています。

■ 新ゼミ生へ

3・4年合同の合宿を計画しています。本当の面白みというのは真剣さがあってこそ生まれます。尖った真剣味を求めている学生は、是非、田口ゼミの門を叩いてみてください。皆さんよりほんの少し成熟した新ゼミ生が、あたたかくーときに厳しくー迎えてくれるでしょう。

人数：3年生12人、4年生8人 執筆：田口 尚志先生

Study of International Trade Risk Management



任 素英 先生



■ 研究テーマ

国際貿易は国内企業に海外市場への進出機会を提供します。また、企業は国際貿易を通じて生産規模の拡大、コスト削減を実現し、規模の経済性を達成します。現在、国際貿易リスクは新たな貿易リスクで多様化しています。したがって、変化する国際貿易リスクを分析し、対応策を適用することは、持続可能な国の経済、企業のビジネスのために、欠かせない永遠のテーマです。

■ 活動内容

任ゼミでは、リスクマネジメントの理論を基に、国際貿易で発生可能な様々なリスクを把握し、実際の事例を通じて分析することに重点を置きます。3年生の春学期は国際貿易に関する英語文書の読解と発表の練習を通じて国際貿易リスクを把握します。3年生の秋学期は、国際貿易リスクとリスクマネジメントに関するケーススタディと学術論文を読解す

る練習をします。その後は論文のテーマを自分で設定し、本格的に研究活動を開始していきます。

■ 新ゼミ生へ

国際貿易とリスクマネジメントに興味があり、熱意をもってゼミに取り組める学生は誰でも歓迎します。研究発表や、論文作成を2年間、英語で行う練習を通じて、皆さんがグローバルで活躍できる人に成長することを期待しています。

人数：3年生10人、4年生0人 執筆：任 素英先生

マクロ経済理論

片岡 孝夫 先生



■ 研究テーマ

当ゼミのテーマの中心はマクロ経済学の理論です。マクロ経済学は時代とともに変化しており、一本の木のように発展してきました。私たちはJ.M. ケインズの理論を出発点として、それが多様な理論に発展する様子を学習し、それぞれの持つ考え方の相違点や背景について研究しています。中にはノーベル賞ものの理論もあり、それを理解することでもできるのです。理論という堅苦しく聞こえるかも知れませんが、それは世界が動く仕組みを根本から理解し

ようとする幾多の努力の結晶です。そうしたことを実感し、ものの見方を身につけることは、一時の流行に惑わされずにものごの本質を見極める力になるでしょう。

■ 活動内容

普段の活動では、教授お手製のテキストや論文の輪読、マクロ経済のシミュレーション分析の実習や自由なテーマによるプレゼンテーションを行ないます。その他、合宿や企業見学などのイベントも行っています。合宿では、四年生のリードのもと、班

ごとに行ってきた研究の発表を行います。

■ 新ゼミ生へ

片岡先生は朗らかで親しみやすく、また非常に学生思いで、一人ひとりにしっかりと目をかけてくださいます。一方、学生の自主性を重んじ、新たなチャレンジを歓迎されています。私たちは、型にはまらず、ゼミ生がそれぞれの個性を発揮して活動することを目指しています。ゼミでの活動は一生の財産になると思います。数学に不安な人、慣れるから大丈夫！ぜひぜひ、積極的に参加お待ちします！ X: @kataakko_zemi

人数：3年生15人、4年生15人 執筆：富樫 零

開発経済学研究

高瀬 浩一 先生

当ゼミでは、主に発展途上国の経済分析を中心とする開発経済学を学びます。担当教員が取り組んでいる太平洋諸島海域（特に、ミクロネシア）に関する研究に加えて、各ゼミ生が関心のある世界中の途上国について研究することができます。3年生のゼミは、商学部卒業生として標準的な素養や技術、さらに、4年生の卒業研究に必要な

知識を身に付けることを目的とした授業が展開されます。具体的には、ミクロ経済学の基礎の習熟（開発経済学の教科書の輪読）、実用的な英語（英字新聞の講読や英語による課題発表）、統計分析（自分の担当国に関するデータ分析）、時事的な背景知識などに関する授業などが挙げられます。また、年に数回、外部の研究機関や施設にてフィー

ルドワークを行うこともあり、生きた知識を身に付ける事ができます。当ゼミ最大の特徴は、ゼミ活動がほぼ全てゼミ生の主体性に委ねられている点にあります。合宿やOBOG会の開催から、授業の運営方針まで、ゼミ生が主体的に意見を出すことができる自由闊達なゼミです。学生生活において卒論など何か一生懸命頑張った成果を

残したい方や、決められた受け身のゼミ活動だけでなく、自分達でゼミ活動を運営していきたい方の参加をお待ちしております。ちなみに、来年度は担当者の在外研究により、ゼミは開講されない可能性があります。

人数：3年生5人、4年生9人 執筆：高瀬 浩一先生

数理計量分析研究

毛利 裕昭 先生

■ 研究テーマ

当ゼミでは、数理解析の手法を学び、数理モデルによって経済、経営、国際関係などの社会現象の分析を行うことを研究テーマとしています。数理解析の手法は非常に多様かつ複雑です。応用確率過程、数理最適化、オペレーションズ・リサーチなどの中から、ゼミ生の興味のある分野を中心に学びます。

■ 活動内容

3 年次は、理系数学の基礎的な教科書や、応用確率過程、数理最適化、オペレーションズ・リサーチの教科書を用いて基礎的な学力を養います。教科書で担当箇所を指定して発表させるというスタイルではなく、全員が発表できることを前提にしてゼミを行います。4 年次はその応用的な学習及び、各自が興味

を持つテーマについてゼミ論を作成します。また、数理モデルの理論、応用分野に関する研究会や国際動向に関係している外部団体のイベントへの参加を奨励しています。国際社会状況について知識を持って状況を分析することが重要だと考えているためです。

■ 新ゼミ生へ

本ゼミではゼミ生のレベルを見ながら理解を深めていけるように心がけて運営しています。限られたゼミの時間の中で、より深い学びを得られるよう、ゼミ生各々の努力に期待します。このゼミで「数理能力×グローバル能力」を身につけ、人工知能にとって代わられない人材を目指しませんか？

人数：3 年生 4 人、4 年生 3 人 執筆：中村 愛理

コンピュータによる統計分析とその応用

坂野 慎哉 先生



■ 研究テーマ

本ゼミでは、統計を「特技」として活用する力を身につけることを目標に、基本的な統計理論とコンピュータ操作を学んでいきます。ゼミ生全員が、統計的な考え方とデータ分析力をバランスよく高めることを目指しています。

■ 活動内容

3 年次には、統計学の基礎知識を身につけるとともに、Excel などを用いた演習で実践的なスキルを習得します。また、統計検定 2 級の合格を目標に、問題演習にも取り組みます。4 年次には、計量経済学の分野を学習し、卒業論文にも取り組んでいます。

■ 新ゼミ生へ

本ゼミでは、基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。坂野先生は授業での小さな疑問もわかりやすく説明してくださるので、安心して勉強できます。データに基づく思考力を身に付けたい人にとって、貴重な最初の一步を踏み出せる場となるでしょう！

人数：3 年生 3 人、4 年生 5 人 執筆：工藤 梨暖

企業の経済学

久保 克行 先生



■ 研究テーマ

本ゼミでは、企業を取り巻く様々な問題を多角的にデータ分析しています。具体的には「社外取締役の人数の引き上げが企業にとってどのようにプラスか」「企業の不祥事は株価にどう影響するのか」など企業活動を理解する上で不可欠な問題を取り扱っています。経済トラックでありながら扱う領域は多岐に渡り、行動経済学やマーケティング、経営戦略、

国際経営なども同時に用います。

■ 活動内容

記事や論文をグループごとに分析しプレゼン発表を行います。発表の際に先生からの確かなアドバイスを頂けるので、リサーチ力に加えて論理的かつ簡潔に話す力が身に付きます。サブゼミではゼミ生が中心となりデータ分析に必要な統計学を主に学びます。また一昨年は関東マーケティング大会への準備を進めるな

ど、自主的に自由な活動もできます。秋には台湾研修を予定しています。

■ 新ゼミ生へ

本ゼミでは経済学をはじめとした幅広い知識を身に付けることができます。グループ活動や国内外でのゼミ合宿もあるためゼミ生同士の仲が深まること間違いなしです！
X: <https://twitter.com/kubozemi2024>
Instagram: <https://www.instagram.com/kubozemi.2024>

人数：3 年生 17 人、4 年生 13 人 執筆：久保 克行先生

計量経済学とその応用

片山 東 先生

■ 研究テーマ

人や企業の行動、社会現象を説明するために社会科学には様々な理論があります。それらの理論の妥当性を検証するために、「理論の与える仮説が現実のデータとマッチしているかどうか」、また「現実のデータを理論がどの程度説明できるか」を統計的にチェックする方法があります。計量経済学はそのためのツールです。理論の検証以外にも計量経済学は用いられます。例えば、政府が行った政策

の定量的評価や、「ある製品の価格や属性が変化したときに、その製品や他の製品のマーケットシェアはどのように変化するか」などの予測にも用いることができます。このゼミは、(1) 計量経済学の手法の理解、そして (2) 計量的手法を用いて現実のデータを分析する能力を身につけること、を目的とします。

■ 活動内容

計量経済学の学習は、「理論」の学習と「応用」(すなわち計量の理論をどの

ように現実のデータに用いるのか) の学習の二本立てになります。「理論」については教員による講義がメインです。「応用」については、計量ソフトを用いて現実のデータを分析することで、計量的手法を実際に使えるようになることを目指します。3 年次の後期は 2 つのチームをつくり、それぞれのチームで論文を作成し、学部の懸賞論文に応募することを目標とします。この過程で学術論文の書き方を学習します。4

年次は自分でトピックを選び卒業論文を作成してもらうことになります。

■ 新ゼミ生へ

履修に際しては (1) 必修科目「基礎数学」程度の数学の知識、(2) 選択科目「基礎統計学」程度の確率・統計学の知識、(3) 初級レベルのミクロ経済学の知識、そして (4) Excel と Word が使える程度のコンピュータのスキル、が前提となります。この中でも確率・統計の知識は特に重要になります。

人数：3 年生 6 人、4 年生 3 人 執筆：片山 東先生

産業組織論研究

加納 和子 先生

■ 研究テーマ

産業組織論は、企業を経済主体として扱い、市場・産業における企業の相互依存関係や消費者行動を分析する応用ミクロ経済学の一分野です。日頃接している小売企業の戦略はどのように分析できるのか、またそうした戦略は消費者にどのような影響を及ぼすのかといった問いについて、経済学的な

視点を中心に考えます。また、ゼミではデータ分析の手法も学習します。実際にデータをみて自ら分析することで、多くの発見を得ることができます。

■ 活動内容

3年次には文献の購読とゼミ生による報告を行い、産業組織論の基礎的な理論やトピックを学習します。代表的な教科書や論文を輪読し、

データ分析の学習や演習をふまえたグループワークを行います。4年次には個人研究の発表と卒論の作成を行います。自ら問いをたてデータを収集し、統計学的手法を用いて分析・考察していただきます。

■ 新ゼミ生へ

グループワークや卒論研究では、必ずしも産業組織論の枠にとらわれる必要はなく、自身が重要だと

思う問題を深く考察してほしいと考えています。関心はあるけれど一見どう扱ってよいのかわからないテーマをどのように分析可能とするかはゼミ生次第です。そのような問いにこそ、重要な問題提起がなされている可能性があります。一緒に活気あるゼミを創っていきましょう。

人数：3年生9人、4年生12人 執筆：加納和子先生

Empirical Study of Policy Evaluation



富 蓉 先生



■ 研究テーマ

The primary aim of this seminar is to facilitate students in enhancing their decision-making proficiencies. Empirical investigations endeavor to infer a causal conclusion regarding the research inquiry by utilizing data obtained through observations or experiments.

■ 活動内容

This seminar mainly concentrates

on quantitative analysis, thus enabling students to acquire a comprehensive understanding of econometrics and to adeptly utilize statistical software like Stata to deduce legitimate causal inferences. Once they have established a solid foundation in empirical research, students will be expected to present their own research proposals, which could pertain to any field, such as

the healthcare system, education system, or financial laws.

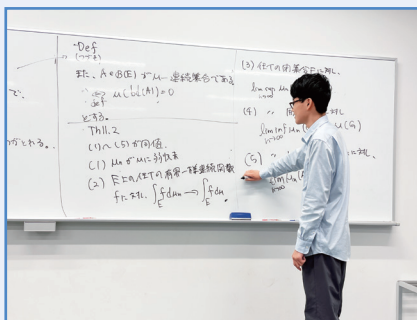
■ 新ゼミ生へ

Upon successfully completing the seminar, students should be able to scrutinize the impact of policies using an evidence-based methodology, a fundamental skill that would be exceptionally advantageous for their future careers or graduate studies.

人数：3年生0人、4年生1人 執筆：Rong Fu 先生

数理経済学研究

原 和弘 先生



このゼミでは、数理経済学に関する研究を行います。主に意思決定理論とゲーム理論の研究を行います。意思決定理論は個人や集団の意思決定について研究する学問です。ゼミでは特に経済学の様々な文脈における合理的意思決定についての研究と、そうした研究をゲーム理論等の関連分野に応用する研究を行っ

ています。ゼミの目標は、卒業論文としてある程度独自性のある研究をまとめることです。3年次は数学書の輪読を行い、必要な数学の知識を身につけます。数学は第二外国語としてコスパが良く、一年間の勉強で多くの学術書や論文が読めるようになります。4年次は卒業論文のテーマを決め、関連書籍を読

みながら研究を進め、成果をまとめます。ゼミ生には研究活動を最優先し、主体的に取り組むことを期待します。並行履修科目として「ゲーム理論と戦略」を設定しています。

人数：3年生0人、4年生1人 執筆：原和弘先生

日本企業システムの経済分析

宮島 英昭 先生

■ 研究テーマ

統計的手法で企業分析を行います。具体的には、戦後の日本企業のシステムの変遷や今後の課題を、経営や経済、金融などの面から分析します。「企業」「金融機関」「政府」それぞれの組織行動に着眼点を置きます。経済学をはじめ、経営学、統計学、会計学を含めた総合的な学習ができます。多岐に及ぶ分野

を学習するため、将来社会に出て役に立つ知識が身につきます。

■ 活動内容

本ゼミでは、毎回発表班と質問班に分かれて、与えられた課題について議論を交わします。基本的にゼミ生主体の活動となり、先生には内容のまとめ、補足などゼミ生のフォローをしていただいています。サブゼミでは、Excelを用い

て統計学を基礎から学び、分析の手法を身につけます。また、30年を超える歴史を持つ宮島ゼミでは、OBOGの方々の人数が多く、交流が深いです。

■ 新ゼミ生へ

当ゼミのモットーは「スポーツのように勉強する」です。基礎的なことを突き詰めて自身の研究を深めていくことは、とてもやりがい

があります。アットホームかつ緊張感のある活動の中で、そのやりがいを感じたい人、企業研究に取り組みたい人、世の中の流れを広く知りたい人など、意欲のある皆さんの参加をお待ちしています。

X: <https://twitter.com/miyajimaseminar>
Instagram: <https://www.instagram.com/miyajimaseminar/>

人数：3年生17人、4年生21人 執筆：中田昂宏、藤田さくら

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネス・エコノミクストラック

● 総合・学際科目分野

国際経済学研究

横山 将義 先生

■ 研究テーマ

国際経済学は、ものの流れを対象とする国際貿易論と、かねの流れを対象とする国際マクロ経済学（国際金融論）から構成されます。これらを学ぶ上で、ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎をしっかりと修得することが前提となります。また、理論のみならず、その応用としての経済政策についても研究を行います。

■ 活動内容

3年生のゼミでは、まずミクロ・マクロ経済の基礎理論を取り上げ、その後、国際経済学の分野へと進みます。テキストの指定範囲をグループごとに報告してもらい、ゼミ生間の議論を通じて国際経済学に対する理解を深めることになります。4年生は1年間学んだ理論的背景をもとに、みずからテーマを設定して卒業論文

の執筆にあたります。経済学の分析手法などを用いて2年間の研究成果をまとめる機会となります。サブゼミは、本ゼミの準備に充てる場合もあれば、懸賞論文に取り組む場合もあり（日銀懸賞論文等で入賞しています）、ゼミ生自身が決めることになっています。毎年9月にはゼミ合宿を行い、研究だけでなく、スポーツやバーベキューなどゼミ生間の親

睦を深める機会となっています。

■ 新ゼミ生へ

ゼミは研究報告や相互の議論とおして、ものの見方やものの考え方を身につける場です。このような知的な取り組みは、社会に出てからさまざまな場面で役立つものと思います。ゼミは共同作業の場なので、各種の活動に協調して取り組む姿勢が必要になります。

人数：3年生 15人、4年生 5人 執筆：横山 将義先生

日本経済史研究

小林 延人 先生



■ 研究テーマ

幕末維新期～昭和戦前期（19世紀後半～20世紀前半）の日本経済史を扱います。

■ 活動内容

ゼミ生には卒業年次に日本経済史に関する卒業論文の執筆を求めます。個別の研究テーマを、教員が直接的には提示しません。それぞれ自身の関心に沿って模索してください。参加者相互の議論によつ

て修正を繰り返しながら、卒業論文を仕上げることに全員で取り組みます。夏には合宿を予定しています。

■ 新ゼミ生へ

卒業論文執筆の際には、自身のオリジナルな見解を提示することが必要です。そのためには過去の研究においてどこまで明らかになっているのかを正確に把握しなければいけません。ただし、過去の研

究を検討するだけでは、なかなか独創的な発想は生まれにくいものです。史料を読み、その解釈を通じて過去の研究とは違う議論を立てることが、経済史の学問領域では基礎的な方法論となっています。丁寧に根気強く、周りと議論ができるゼミ生を歓迎します。

人数：3年生 0人、4年生 8人 執筆：小林 延人先生

国際経済関係研究

池尾 愛子 先生



■ 研究テーマ

人類の活動を根拠から支える、化石燃料や再生可能エネルギーのようなエネルギー源に関して、幅広い観点から研究するゼミです。活動の中では、エネルギーと強い相関がある世界情勢や国際経済の動向について学ぶこともできます。

■ 活動内容

3年前期では、資源エネルギー庁の『エネルギー白書』をはじめとした

様々な資料や文献を用いて、国内外のエネルギー動向に関して前提知識を得ます。その後、夏休みの合宿や後期ゼミではグループワークを行い、発展的な議論、発表を行うことを目標に活動します。また、発表内では逐次教授から内容の補足やアドバイスをいただけるため、理解をさらに深めることが可能です。

■ 新ゼミ生へ

日本は、極めて低いエネルギー自給

率の上に成り立っています。今後、こうした構造を変革していくのはまさに私たちの世代です。また、近年、SDGsなど環境意識の高まりから、エネルギー分野は注目を集めています。このゼミに参加することで、前述したような社会課題に対する理解を深め、自分自身の考えをもつ一助になると考えます。皆さんもぜひ、エネルギーの観点から国際経済関係を研究してみませんか？

人数：3年生 12人、4年生 17人 執筆：武井 学陽

Economic and Business History: Global Perspectives



矢後 和彦 先生



■ 研究テーマ

This seminar explores the history of economy and business from a global perspective. Students work with archival materials from international institutions and global companies, learning how to ask meaningful historical questions and analyze complex records. The goal is to build a broad, analytical understanding of how economic

activities have shaped — and been shaped by — global society over time.

■ 活動内容

Students build critical thinking and communication skills through reading primary sources and analyzing historical data. Also a part of the GMP, we enjoy many opportunities to interact with future global leaders from diverse

backgrounds.

■ 新ゼミ生へ

If you are curious about how the past connects to today's world, we welcome you! No specialized knowledge is required. Let's discover history together!

人数：3年生 16人、4年生 11人 執筆：河合 紗良

雇用労働研究

小倉 一哉 先生

■ 研究テーマ

働く人の約9割は、「雇われて」働いています。そのような人々を雇用労働者と言います。「雇用労働研究」とは、雇われて働く人の様々な問題を考えることを意味しています。就職活動・インターンシップ、アルバイトのトラブル、働き方改革・過労死、同一労働同一賃金、ジョブ型雇用、AIと雇用、副業・兼業、

障がい者雇用など、様々な問題がある今日、ゼミを通じて主体的に学ぶことを、目的としています。

■ 活動内容

3～4人を1つのチームとして、半期ごとにチームを入れ替え、グループ研究をして、期末に研究発表をします。各チームは、研究テーマを相談し、関連する文献サーベイを行い、関係者へのインタビュー

調査を実施し、最後にプレゼン資料を作成して、発表します。テーマによっては、インタビューを依頼する人や会社が複数になり、また、遠方へ出かけることもあります。自ら企画しフィールドワークをすることは、ゼミ生の実行力を育み、とても良い社会勉強になっています。

■ 新ゼミ生へ

3年生はサブゼミが1コマありますが、部活動などと両立できるように、その他の時間をゼミ活動で使うことは基本的にありません。ただし、その分、積極的にゼミ活動に取り組みないと、仲間にも迷惑をかけます。「ゆるさ」だけを求めて来る人は、遠慮して下さい。

人数：3年生 17人、4年生 16人 執筆：小倉 一哉先生

産業・企業ダイナミクス研究

宮川 大介 先生



■ 研究テーマ

宮川ゼミでは、実証分析手法の習得とその応用（リサーチの実施）をテーマとして、輪読（担当箇所のレジュメ作成・プレゼン・質疑）やデータ分析を内容とする演習を行います。

■ 活動内容

3年次のゼミでは、RとSTATAを用いてデータ分析手法を学ぶ

と共に、各自の関心に沿ったりサーチの準備を進め、4年時における卒業論文の執筆に向けた準備を進めます。4年次のゼミでは、卒業論文プロジェクトに注力します。この過程で他大学を含むインゼミへの参加や論文コンクールへの投稿なども行います。

■ 新ゼミ生へ

実証手法と経済学の理論に基づいた考え方のフレームワークを習得することで、幅広いテーマを取り扱うことができるようになります。将来のキャリア形成において分析的な仕事（注：学術研究に限りません）を志向する学生を歓迎します。

人数：3年生 6人、4年生 8人 執筆：宮川 大介先生

国際貿易と経済学

市田 敏啓 先生

■ 研究テーマ

本ゼミでは国際貿易に関するトピックを中心に据えながら、「経済的な考え方」を身につけ、世の中のあらゆる出来事に対して「自分の頭で考えること」ができるようになることを目的としています。英語のテキストを用いて経済学とプレゼンテーションの仕方を学び、日本語の文献を大量に読んで議論

します。市田ゼミに入ると、英語力、ロジカルシンキング、プレゼン力、経済学の基礎と応用が身につきます。

■ 活動内容

通常のゼミ活動、サブゼミに加えて、国内の勉強合宿が年2回、海外大学交流・研修合宿（2023はタイ2024は台湾）が年1回、スキー合宿、インゼミ活動（昨年度は学

習院、上智、青山、中央、津田塾など）を行います。先生はゼミ後の食事会などにも頻りに顔を出してくださり、他愛のない話から社会で身につくマナーなど様々なことを教えてくださいます。また、先輩後輩の繋がりも市田ゼミの大きな魅力の1つです。卒業後の進路は総合商社、金融業界、大手メーカー、コンサルティング、マスコミ、

大学教授職、シンクタンク研究者、国家公務員総合職など、多岐にわたります。

■ 新ゼミ生へ

ゼミ活動の良さは、仲間と一緒に難しい課題に取り組むことです。活動に必要なのは、「やる気」や「積極性」であり、今勉強が得意であるかは全く関係ありません。市田ゼミで一所懸命に頑張ってください。

人数：3年生 11人、4年生 2人 執筆：塚田 雄大

国際貿易研究

横田 一彦 先生

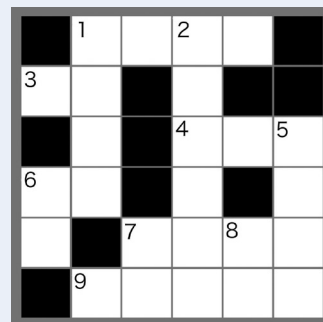
タテ

- 1: 研究内容① ○○○○経済学
- 2: 経済学者デヴィッド・リカードが唱えた概念
- 5: 末吉の読み方
- 6: 中国の通貨
- 7: 会計帳簿に記載された資産や負債の評価額
- 8: 鱻の読み方

ヨコ

- 1: 教授の名前は横田○○○○先生
- 3: 鯉の読み方
- 4: 今回紹介文に採用したのは○○○ワード
- 6: 6/2,9○○曜日5限に見学会やります！
- 7: 研究内容② 国際○○○○論
- 9: 私たちは○○○○○のゼミを目指しています！

ゼミ HP、
Instagram 参照



人数：3年生 16人、4年生 14人 執筆：3年生一同

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネス・エコノミクストラック

● 総合・学際科目分野

西洋哲学史理論研究

辻内 宣博 先生

■ 研究テーマ

このゼミでは、西洋哲学の歴史を哲学理論的な観点から研究することを主要テーマとしています。古代・中世期の哲学、あるいは、近世・近代期の哲学であっても、できる限り、現代哲学のテーマトピックと関連させることを目指します。というのも、哲学という学問は、歴史性がありつつも、他方では、

どの時代でも根本的には似たような問題圏をめぐって議論を積み重ねていると考えるからです。

■ 活動内容

哲学の研究手法は、基本的には、文献研究です。それゆえ、まずは読むべき資料を確定し、その後、精密かつ丁寧にその資料を読解していくことがベースになります。その精密で丁寧な読解の中で、こ

れがどんな議論に繋がっていくかが見えてくることもありますので、適宜、資料を離れて、身近な事例を使いながら、議論を深めていくことになります。

■ 新ゼミ生へ

商学部に進学したのに、なぜ人文科学研究？と思われるかもしれませんが、しかし他方で、近年の企業経営において、哲学や倫理学に基づ

いて、物事の理解の仕方や考え方を再検討するという試みが行なわれることもあります。いわゆる、批判的な分析／クリティカル・シンキングとなりますが、この手法は、哲学が生まれつき備えていた方法論です。もしこのようなことに関心があれば、是非、選択肢の一つとして検討してみてください。

執筆：辻内 宣博先生

トポロジー理論研究

安原 晃 先生

■ 研究テーマ

私の専門分野は幾何学の一分野である（低次元）トポロジーです。特に結び目理論の研究をしています。このゼミでは、結び目理論に限らず、トポロジーに関連するテーマを勉強する予定です。具体的なテーマはゼミ生と相談の上で決める予定です。

■ 活動内容

トポロジー関連の専門書（洋書）を輪講形式（1冊のテキストに関して、ゼミ生が順番に講義する）で勉強していきます。担当者は、自分が先生になったつもりで、入念に「講義」の準備をして来て下さい。私は、生徒になったつもりでいろいろと質問

します。あらかじめ担当者を決めて行いますが、担当者が聞いた場合は、他のゼミ生と交代してもらうので、各自が毎回発表できるよう準備してきて下さい。

■ 新ゼミ生へ

トポロジーの知識を得るためだけではなく、数学の専門書を通

して、正しく理解し（読み）表現する（書く、話す）力を培うことが、ねらいでもあります。数学の基礎知識が足りなくとも、やる気さえあれば何とかできます。毎回の予習・復習には、かなりの時間を費やす覚悟が必要です。

執筆：安原 晃先生

力学系理論研究

渡邊 展也 先生

■ 研究テーマ

力学系理論（dynamical systems）は時間と共に変化する状態の記述を元とする数学の分野の一つです。力学系的な考え方は数学の様々な分野に現れますが、歴史的には、そのメインストリームは、ポアンカレによる三体問題における常微分方程式の解の定性的（位相的）研究に発し、様々な先駆的研究の

のち、スモール達やロシア学派による双曲的力学系の構造安定性を中心とした研究を経て、ストレンジアトラクターの構造の解明など、現在では一様双曲性を越えた更に精緻な研究が盛んに行われています。カオス理論や準結晶などとも関係があります。数学の他の分野との関わりもますます深く緊密になってきています。力学系の考え

方の基本を理解し、ある程度使うことができるようになることが目標です。

■ 活動内容

力学系理論研究ゼミでは力学系理論のテキストを選び、輪講形式で基礎からしっかりと学んでいきたいと思っています。（輪講形式とは、学生が順番に内容を解説して学んでいくことです。）

■ 新ゼミ生へ

基本的なことからしっかりと理解して進めていきたいと思っていますので、積極的に予習復習を時間をかけて行うことが必要になると考えられます。意欲のある方の参加を期待いたします。

執筆：渡邊 展也先生

幾何学理論研究

山口 祥司 先生

■ 研究テーマ

数学において図形を研究する分野を幾何学といいます。さらに図形の定量的な性質を研究する分野は微分幾何学、定性的な性質を研究する分野は位相幾何学（トポロジー）とよばれています。この他にも多項式方程式が定める図形を研究する代数幾何学といった分野もあります。このゼミでは微分幾何

学・位相幾何学に関連する内容を学びます。大学で学習する微分積分学・線形代数学・群論を応用して図形を研究する発展的な内容を予定しています。

■ 活動内容

幾何学理論研究では微分幾何学・位相幾何学の専門書をテキストに選び、輪講形式でテキストの内容を学習します（輪講形式とは参加学

生がテキストの担当箇所を順番に解説講義して内容を学習する形式のことです）。ゼミで使用するテキストは幾何学の専門書を想定していますが関連する内容であれば他分野の専門書でも大丈夫です。テキストの選定は参加学生と相談して決定します。

■ 新ゼミ生へ

数学の専門書は多かれ少なかれ説

明の細部を読者が補うことを想定して書かれています。専門書の解説講義を行うには、専門書が省略していると思う説明の細部を準備しておくことが大切です。発表を意識して専門書を読み進めることで専門的な内容を深く理解し、参加学生と共有する方法を身につけていってほしいと思います。

執筆：山口 祥司先生

英語コミュニケーション研究

佐藤 詩恵 先生

■ 研究テーマ

本ゼミでは、将来的に英語を用いて国際的なビジネスの現場で活躍することを目指す学生や、海外の大学院・MBAへの進学を志す学生を主な対象とし、英語学の専門知識を基盤として、高度かつ実践的な英語運用能力を段階的に養成していきます。ビジネスレター、メール、契約書など、フォーマルな文書に適した表現を学び、状況に応じて「自然に響く英語」を発信できる力を養

成します。文法的な正確さにとどまらず、実務の現場で信頼を得ることができる「真に使える英語力」の習得を目指します。

■ 活動内容

まず、プレゼンテーションやディスカッションを通じて、これまでに出版された優れた英語関連書籍やビジネス実用書（日本語・英語）から要点を抽出し、そこから得られる知識を整理・習得することから始めます。その後、専

門書を読む際に不可欠となる英語学分野の基本概念や主要な用語を学び、海外大学院進学時に必要とされる GMAT (Graduate Management Admission Test) 対策や学術論文の読解を含む多様な教材・学習法を活用しながら、英語運用能力を効果的に高めていきます。また、英語母語話者の用例を集めたコーパスや、生成 AI などの大規模言語モデルを適切に活用し、自身の英語力を分析・可視化した上で、弱点の把握と克

服に体系的に取り組みます。

■ 新ゼミ生へ

2026 年度の募集は行っていませんが、2027 年度以降、英文法を一通り学習し終えたと感じている学生は、ぜひ応募を検討してください。

執筆者：佐藤 詩恵先生

音声学・音韻論研究

篠原 靖明 先生

SCAN ME



■ 研究テーマ

Phonetics, Phonology, and Cognitive Neuroscience. We will investigate how humans perceive and produce language sounds by conducting experiments. We will also examine how perception and production are different across languages. For example, English has three distinct vowels, /æ/, /ɜ/, and /ɑ/, while Japanese has only one corresponding vowel, /a/. Japanese speakers have difficulty discriminating these English vowels, and their brain responses differ significantly from those of English speakers.

■ 活動内容

This Research Practicum in Speech Perception and Production aims to enhance students' research skills in speech perception and production. Students will select or be assigned a research topic, collect and analyze data, write a conference paper, and present it at an international conference. If they prefer not to attend a conference, they may choose to submit only the conference paper or a graduation thesis. Through these activities, students will improve their logical thinking and develop skills in data analysis and academic writing. All activities are tailored to students' interests. If they wish to

undertake a study trip, arrangements can be made.

■ 新ゼミ生へ

本ゼミは 2026 年 4 月開設予定です。ゼミ内では、基本的に英語の文献を読み、英語で授業を行います。英語力が必須ということはありません。必須なのは、研究内容を深く理解しようとする姿勢です。実験により多くのデータを収集し、プレゼンの準備も行うため、根気強さも重要です。高いゴールを目指すために努力できる学生の応募を強く望みます。I hope you will join us on an enriching journey studying speech perception and production. Instruction language: primarily English

執筆者：篠原 靖明先生

スピーチアクト&ポライトネス研究

鈴木 利彦 先生

■ 研究テーマ

英語コミュニケーションにおけるスピーチアクト（発話行為）とポライトネス（丁寧さ・適切さ）のストラテジーの研究を行います。グローバル化が進む現代社会において、文脈に応じて相手の意図を正確に理解し自らの意図を効果的に伝達することが益々重要になっています。そのために重要なのがスピーチアクトとポライトネスの理解、習得、並びに研究です。感謝、謝罪、

依頼、招待などのスピーチアクトがどのように遂行され、それらのためにどのようなポライトネスが用いられているかを語用論の観点から研究します。

■ 活動内容

基本的な専門書の購読からはじめ、文献調査、データ収集・分析、プレゼンテーション、レポート執筆、そして最終的には卒業論文執筆を行うことにより、当該分野の専門知識を身につけて行きます。アメリカ・サンタクララ大

学とのオンラインフォーラム交流を通じて英語コミュニケーションにおけるスピーチアクトとポライトネスのストラテジーの実践研究を行う予定です。

■ 新ゼミ生へ

相手と状況と目的に応じて私たちは言語を使い分けている、ということを考えたことはありますか？友達に「ありがとう！」、お世話になっている先生に「ありがとうございます」と無意識のうちに言うのは何故でしょうか。それは

我々には言語を社会的状況に合わせて使用する能力が備わっているからなのです。英語ではどう使い分けるのでしょうか。一緒に研究していきましょう！

執筆者：鈴木 利彦先生

SDGs実践プロジェクト(上級英語)研究

バウワー ジャック ビクター 先生

■ 研究テーマ

本ゼミでは、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) への理解を深めながら、英語運用能力の向上を目指します。問題解決型学習 (PBL) アプローチを用いて、地域社会に根ざした課題に取り組み、持続可能な解決策を英語で探究します。

■ 活動内容

ゼミの前半では、17 の SDGs とその意義について学び、成功事例を通して地域プロジェクトの実践例に触れます。その後、少人数グループに分かれ、地域課題を特定し、SDGs に基づく小規模な解決策を考案・実施します。外部での活動が難しい場合

は、地域の NPO 等との連携による調査やボランティア活動を行います。最終的にはグループ発表を行い、ゼミ全体でプロジェクトを共有・評価します。

■ 新ゼミ生へ

新しく始まるゼミです。理論的な学びと実践的な活動を融合させることで、英語力、批判的思

考力（クリティカルシンキング）、チームワーク、プロジェクトマネジメント力を総合的に鍛えることができます。地域社会に貢献したい、グローバルな視野を広げたいという意欲を持つ方の参加を心よりお待ちしております。

執筆者：バウワー ジャック ビクター先生

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネス・エコノミクストラック

● 総合・学際科目分野

英語辞書と出版

山田 茂 先生

■ 研究テーマ

「辞書と出版」の授業の冒頭、トム・マッカーサー博士が、Concise Oxford Dictionary をかたどった缶から超小型辞書を取り出して言いました：1. 辞書は教育的な書物であると同時に商品であるため、予算、人件費等、ページ数、納期も決まっている；2. そのような制約の中で使用対象を念頭に、採算が合うように

企画されていて、超小型辞書もありである。つまり、売れるように、限られた箱の中に、情報を取り出しやすく収納しているのです。Lexicography は辞書の研究と作成の両方を指します。英語辞書以外の辞書類、学習参考書、ネット辞書、アプリも研究対象になりえます。辞書は発音、文法、意味、用法、語源を含むので、英語そのものも

研究の対象になります。

■ 活動内容

・教員による辞書学会(界)で起っていることの講義、全体での議論
・基本的な論文、代表的な本の輪読
・出版業界からゲストを招いての講演
ゼミは日本語で行いますが、英語でプレゼン、ディスカッションができるようになるための訓練、練習も行います。

■ 新ゼミ生へ

辞書も商品で、個性があります。学習英英辞典の歴史、比較、使い方の指導、革新的な英英辞典の作成が現在の私の研究テーマですが、あまり限定的に考える必要はありません。電子化、生成AIの出現により大きく変わってきている辞書のデザイン、ビジネスモデル等についても、商学の専門知識のある皆さんと検討したいです。英語発信能力も鍛えます。

執筆：山田 茂先生

ドイツ文化研究

クラウド マヌエル フィリップ 先生

■ 研究テーマ

本ゼミでは、NPC（ノンプレイヤーキャラクター）や〈汚染された主観性〉、〈スク립トの破綻〉、〈ダブル・コンシャスネス〉といった概念を手がかりに、人間と機械、記憶と身体、感染とアイデンティティをめぐる境界的な思考を展開します。日本および欧米の文学、アニメ、映画を横断的に扱い、文学、医療、人類学、テクノロジー、ブラック・スタディーズ、ノイズ音楽、ビジュ

アルアートなど多様な視点を交差させながら、既存のカテゴリーを攪乱する思考と表現を目指します。学術的な枠を意図的にずらしながら、理論と感性が交わる新しい思考のかたち＝〈美学的に汚染された理論〉を模索します。

■ 活動内容

小説や映像作品を扱いながら、テーマに関連する問いをグループで共有・検討します。プレゼンテーションやディスカッションを通して、作品と理論を

結びつけ、自らの視点を鍛えます。異なる分野の思考と出会いながら、「読む」「見る」という行為の可能性を再発見する場でもあります。特に4年生は、ゼミでの議論と探究を基盤に、卒業論文の個別指導も行います。

■ 新ゼミ生へ

このゼミでは、「当たり前」を疑うところからすべてが始まります。現代社会の構造、制度、文化に潜む「見えにくい規範」や「排除された声」に目を向け、

自分だけの問いを育てていきましょう。本や映画を通じて、思考の限界を越えていく冒険に出ませんか？「読めないものを読む」「名前のない感覚にかたちを与える」—そんな試みに挑戦したい人を歓迎します。

執筆：クラウド マヌエル フィリップ先生

メディア文化研究

柳橋 大輔 先生

■ 研究テーマ

ディズニー映画が原作のメルヘンと違うストーリーなのはなぜ？／アニメが2.5次元舞台になるときどんな変化が生じる？／〈聖地巡礼〉（コンテンツツーリズム）などファンダムによる文化実践は何を生み出す？ etc. —このゼミでは、文字テキスト、映像からデジタルメディアに至る多様なメディアにおいて展開される文化的事象（文学、映画、アニメ、漫画、ゲーム、MVなど）

をめぐり、メディア研究や文化研究（カルチュラル・スタディーズ）、比較文学比較文化などの視座から学際的に調査・分析・考察を行ないます。

■ 活動内容

3年次はメディア文化を学術的に研究する方法について、重要文献を講読しながら身近な現象を手がかりに学習します。とくに、1) コンテンツ文化の【生産】／2) メディアを通じた【流通】／3) 【受容】におけるイノベーション、の3

つの側面に注目します。

文献講読はグループ発表のかたちで進めます。理論を理解し、具体的事象の分析ツールとして活用・習熟しましょう。4年次では関心のあるメディア文化現象についてリサーチし、研究発表にまとめたうえで、ゼミでの議論を踏まえて卒業論文を作成します。

■ 新ゼミ生へ

このゼミは2026年度に新設されます。〈初期メン〉としてゼミを主体的に作り

上げてみませんか。広くメディア・コンテンツに関心のあるみなさんの参加をお待ちしています。

執筆：柳橋 大輔先生

フランス映画研究

M. M. パルヴェーレスコ 先生

■ 研究テーマ

このゼミは三つの目的があります。1. 名作と珍しい映画の鑑賞を基に映画の特徴を分析します。特に台詞と映像の関わりについて考えて、映像の力を注目します。2. 映画は異国の文化、歴史、社会を理解できる近道として、フランスの文化とフランス人の考え方を紹介します。3. 映画の評価の基準

について考えて、映画の紹介の仕方を練習します。面白いが面白くないという単純な感想に留まらないで、自分の意見を他人に伝える練習します。

■ 活動内容

娯楽映画とは一味違う様々な映画を教室で見て、先生の解釈を聞いて、映画の新しい見方を経験します。また、学生同士で映画の感想を比

べてみるディスカッションも行われます。同じ映画の十人十色の受け止め方は、映画の多様性を証拠します。

■ 新ゼミ生へ

フランス語学習のゼミではありません。第二外国語としてフランス語以外の言語を選んだ学生もこのゼミに参加できます。また、フランス映画を見たことのない学生も、

映画に詳しい学生もこのゼミを選択できます。ただし、積極的に参加する必要があります。居眠り禁止。今まで見慣れた映画と違う映画の発見と映像の力の理解で視線が広くなれば、ゼミ以外にも映画を見たくなります。

執筆：M. M. パルヴェーレスコ先生

スペイン地域研究

ロペスハラ サンティアゴ 先生

■ 研究テーマ

当該教員の専門は言語学（スペイン語・日本語の比較対象）であるが、現代のスペインについて学際的な視野も持ち合わせている。スペインと日本の社会は、異なる点が目立つものも確かではあるが、類似点もある。さらにまた、お互い似たような問題に直面していることも事実である。特に次の3つの点について、スペイン・日本の対照研究ができるようにゼミを

開きたい。

- ・地方の問題（少子高齢化、その対策と政策）
 - ・観光産業がもたらした諸問題（治安、迷惑行為、物価高騰、等）
 - ・Turismo Rural（外国人向けではない地方観光産業）
- なお、スペイン地域研究の分野に関するテーマであれば、学生のニーズや希望に合わせて内容を調整することにもやぶさかではない。

■ 活動内容

スペイン地域研究では、基本的にまずビジネス・スペイン語を学びながら、スペイン経済の特徴を把握し、ゼミ生が提案したテーマについて知識を増やします。3年生のゼミではCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）B1レベルのビジネス・スペイン語を勉強し、4年生のゼミではB2レベルのビジネス・スペイン語を取得します。プレゼンテーション、レポートや論文などは学生が自ら

で選んだ研究テーマについてのものになります。

■ 新ゼミ生へ

本ゼミのスペイン語はゼロから始まるのではありません。1年生の時にスペイン語を選び、2年生の時もスペイン語の選択科目（2つ以上）を勉強したという学歴がなければ本ゼミのスペイン語はとても難しいかと思います。

執筆者：ロペスハラ サンティアゴ先生

東アジア文化研究

小川 利康 先生

■ 研究テーマ

東アジア（日本、中国、台湾、香港、韓国など）における地域社会の諸相を比較文化論の視点から探究するゼミです。日本との相互比較だけでなく、東アジア全体を俯瞰する多角的比較研究も行います。ゼミ参加には、中国語か朝鮮語（韓国語）の学習歴を要件とします。ゼミ生がそれぞれ言語学習を通して感じた違和感を手がかりに、異文化とどのように上手に付き合うかを幅

広く話し合える場にしたいと思います。

■ 活動内容

すべては参加者皆さんの手でゼロから作ってゆくゼミです。教員は皆さんの意欲を具体化するお手伝いをします。ゼミ生で共通教科書を一冊決めてから輪読形式で各自サマリーとコメントをPowerPointで発表し、討論してゆきます。

■ 新ゼミ生へ

このゼミは、中国語担当教員が運営し

ているので、学習する内容は文化研究が中心になります。東アジア文化がカバーする範囲は非常に広汎です。人類学、社会学に係わる社会論、国地域で異なる衣服、料理など風俗習慣論だけでなく、サブカルチャー研究も歓迎します。東アジア文化に係わる問題が含まれていれば、ビジネスについても当然取り上げます。東アジアにおけるフェミニズムの問題も担当教員の研究対象ですので、挑戦して欲しいと思います。

残念ながら韓国語はほとんど読めないのですが、K-Popなど音楽論でも大丈夫です。現在、「ビジネス研修」で台湾大学を毎年訪問していますが、ゼミが発足すれば、参加メンバーの希望を踏まえ、ほかの地域でのフィールドワークも実施したいと思います。

執筆者：小川 利康先生

中国語圏の歴史とアイデンティティ

中村 みどり 先生



■ 研究テーマ

中国大陸、香港、台湾の近現代史を取り上げながら、その時代やジェンダーなどの角度から、それぞれの国・地域における人々のアイデンティティの模索について考察をかさねます。密接な交流がありながら、近年では「近くて遠い」と報道されがちな近隣の国・地域の有り様を、内側から理解し、かつ多層的に分析し、それを文章化する力を身につけることを目標とします。

■ 活動内容

指定する日本語および中国語の文字資料であるテキストを輪読し、適宜、映像資料も利用します。またゼミ生で担当を決めてパワーポイントを作成し、報告を行ないます。フィードバックを重ね、プレゼンテーションの基本を身につけながら、各自の問題意識を明確化してゆきます。秋学期には、卒業論文作成の報告を行ないながら、論文の執筆をすすめます。

■ 新ゼミ生へ

これまで主に1～2年生を対象としたプロゼミを担当していましたが、専門ゼミとしては2026年度スタートです。中国大陸、香港、台湾の歴史文化の差異について柔軟に理解し得、また自分なりの興味を持っている人の参加を希望します。

執筆者：中村 みどり先生

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネス・エコノミクストラック

● 総合・学際科目分野